

小田野中央公園第 2 回秋のワークショップが開催されました

2010 年 9 月 26 日(日)に第 2 回秋のワークショップが晴天の下開催されました。まず始めに、「小田野中央公園大作戦」と題して恩方中学校生徒会や東京都八王子福祉園・公園まちづくりの会が、「私たちの町は、私たちの支えあいで築こう。小田野中央公園も私たちの支えあいで作り維持管理をしてゆこう。」という活動目的の下に今まで一生懸命取り組んできた活動の報告を行いました。

今年の秋のワークショップは、主として全員参加型のイベントとなりました。メインは、竹ぼうきづくり・竹でっぽう・水鉄砲・竹ぼっくり、などの楽しい竹細工でした。非常に好評でありましたが、準備段階で大変手がかかり、何日もかけて準備を行ったスタッフの方々には、大変ご苦勞をおかけしました、心より感謝いたします。

またステージでは、恒例の恩中・プラスバンドが演奏し、その後は、シンガーソングライターの H I R O さんといっしょに恩方中学校生徒や子供たちが楽しく一緒に歌を歌いました。竹楽器の東京楽竹団(らくたけだん)の演奏にも皆が加わり楽しみました。ドラムサークル「つのけんさんと太鼓で遊ぼう」では、クヌギ林の中にブルーシートを敷きつめて、多種多様な打楽器を使って大勢の子供たちがリズムの一体感を楽しみました。ステージイベント最後のスリッパ飛ばしには、幼児から大人までたくさんの方々が参加してとても楽しく過ごせました。

お天気にも恵まれ、参加型ということもあり、多くの来園者が出演者達と楽しく交流ができました。集まった多くの子供たちにもまた一つ楽しいふるさとの思い出がふえたこととうれしく思います。最後に、急きょお願いして音響設備を提供して下さった陣馬太鼓さんにも感謝申し上げます。

[小田野中央公園まちづくりの会 副会長 塚原京史]



つのけんさんと太鼓で遊ぼう クヌギ林の中で、つのけんさんの振りに合わせてみんなで打楽器を演奏しました。



ワークショップのにぎわい
老若男女広い世代の方が
参加してくれました。竹細
工コーナーも大人気。
地元のおじいちゃん達と
子供たちが竹ぼうきや竹遊
具と一緒に作り世代間交流
しました。

秋のワークショップ 恩方中学校生徒さんの感想

〔前生徒会会長 前田菜奈さん〕

秋のワークショップでは、生徒会役員会が中心となって HIRO さんとの共演に向けて準備を進めていきました。

HIRO さんは恩方地区出身のシンガーソングライター。実際お会いしてみると、地元をととても大切にしていられることがわかりました。

そんな HIRO さんといっしょにワークショップを盛り上げようと、全校生徒に、HIRO さんとうたいたい歌をアンケート調査しました。その結果、会場にいる大人も子供も全員でうたえる曲ということで「上を向いて歩こう」に決まりました。最初から決まっていた「世界でひとつだけの花」とこの曲の二曲を、本番の日まで毎日、吹奏楽部の部員や有志で参加してくれる人たちといっしょに、音楽室に集まって練習をしました。歌詞を模造紙に書き、会場の皆さんに見てもらえるような工夫もしました。本番では、肩を組んでみんなで楽しく HIRO さんと歌うことができました。

聞いてくれた皆さん、HIRO さん、協力してくれた恩方中のみんな、ありがとうございました！



〔生徒会役員 野嶋萌子さん〕

私は今回のワークショップに参加して、地域の人たちの「優しさ」に触れることができました。

まちづくりの会の人たちや福祉施設の方などが、地域を盛り上げようとしている姿に、心を動かされました。

小さいお子さんたちにも楽しんでもらえるようなイベントも、たくさんありました。たとえば竹ぼうき作りでは、丁寧に優しく作り方を教えてくださいました。

スリッパ飛ばし大会では、小さい子どもから大人まで、幅広い年齢層の方々が参加していました。楽しそうな顔を見てみると、こちらまで楽しくなりました。こういったイベントで皆さんの笑顔が見られるのはとてもいいことだと感じました。

私たち生徒会役員は、先輩から代々引き継がれているこの活動を、これからもっと盛り上げていきたいと思っています。今後の活動に期待してください。



〔吹奏楽部 部長 阪井実果さん〕

私たちは、恩方中吹奏楽部として演奏させていただきました。

まず初めに演奏したのは、「ズッコケ男道」という曲でした。練習の時は、うまくできないところも多く、すごく不安でした。ですが、本番ではうまく演奏することができました。たくさんの拍手をいただいた時はすごく嬉しかったです。

次の曲は東京都中学校吹奏楽コンクールで銀賞をいただくことができた「Overtura」でした。この曲はコンクールで吹くような曲だから、あきたりしないかなあと心配しましたが、皆さんしっかり聞いてくれて嬉しかったです。

最後の「アララの呪文」では皆さんが手拍子をして下さったので、楽しく吹くことができました。部員が全員気持ちよく吹けたのは皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。



東京楽竹団の皆さんからのコメント

東京楽竹団は、高尾の森わくわくビレッジを拠点に日本全国で活動しています。使用楽器のほとんどは手作りで、秋になると恩方で活動する「八王子住まいづくり市民塾」さんの管理する竹林で竹を切らせていただいています。しかし、地元の方々に演奏を聴いていただく機会がなかなかなく、残念に思っていました。今回、小田野中央公園で演奏させていただき、楽器にも触れていただく機会が持て、とても嬉しく思っています。ありがとうございました。来年10月には渋谷での自主公演が決まっています。

今後とも応援よろしくお願いたします！



フリーマーケット(地元住民有志)

フランクフルト焼き(まちづくりの会)

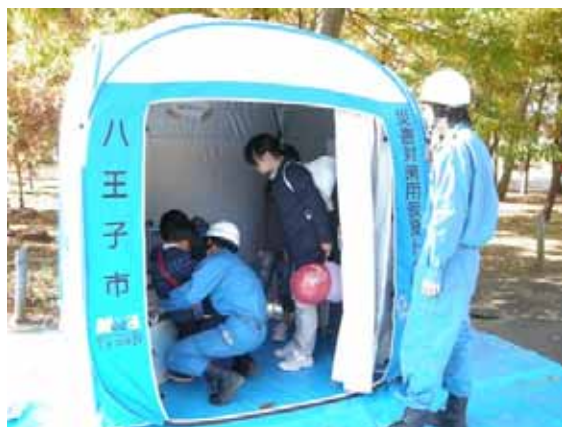
焼きそば(地元ボーイスカウト)

はくいし 石川県羽咋市より視察がありました

11月23日(火)能登半島のつけ根部分に位置する石川県羽咋市より8名の方々が、「小田野中央公園まちづくりの会の取り組みと公園の視察」に見えられました。お見えになった方々は、市議会議員・町会長・市企画財政課職員・市民活動支援センター職員などの方々です。プロジェクターを使ってこれまでの手作り公園、約6年間の内容を説明しました。その後公園を見ていただきながら説明をいたしました。常に子供たちを中心に考えながら住民がお互いに支えあって行政との協働で運営していること、公園には多くの人たち、特に子供たちが多く利用していること、公園が非常にきれいに管理されていることなどに多くの感銘を受けたようです。

恩方地区総合防災訓練が小田野中央公園で開催されました

平成22年度の防災訓練が11月21日、恩方地区防災協議会及び八王子消防署ほか多くの関係者の協力の下に小田野中央公園で大々的に開催されました。今回は新しい訓練のしかたを取り入れて、地域の人が安全安心の暮しを自ら体験する良い機会となりました。特に子供たち対象の消火訓練や防災紙芝居など防災イベントもあり多くの子供が楽しみました。まちづくりの会は昨年同様に災害時の組み立て式簡易トイレの紹介を市役所の防災課員と担当しました。多くの方がトイレの中に入って使い方の体験を楽しんでくれました。今回の訓練は公園を広く使いゆったりとした訓練となりました。



地域ふれあいスポーツ大会が小田野中央公園で開催されました

今年も恩方地区青少年対策協議会主催のスポーツ大会が12月5日、秋晴れの小田野中央公園で開催されました。小学生、中学生とその親や先生、ボーイスカウトの皆さんや地域の人たちを交えてグランドゴルフ、ドッチビー、フットサル、大縄跳びなどで心地よい汗を流しました。恩方スポーツクラブやPTAのお母さん方が中心となってトン汁や餅つきに加えて我々まちづくりの会は15キロのソーセージを焼いて参加者に提供しました。思いっきり遊び、お腹一杯食べて子供たちにとって思い出となる一日が過ごせた事でしょう。



第4回さくらまつりを

八王子市と協働で開催します

日時：平成23年3月13日(日)10時～14時

場所：小田野中央公園 亀の日時計前広場

さくらまつりは地域住民の手作りまつりです。

今年も河津桜並木で一足早い春祭りを楽しみましょう。

みなさんのご参加をお待ちしています。

まちづくりの会は、共助のまち・支え合いのまちづくりを目指しています。